



わかりやすい 住まいの管理教室

2011年8月29日(月)
第2講座 第4回

今回の内容

- 1 住居等侵入犯罪の手口
- 2 泥棒を侵入させない方策
- 3 代表的な防犯システム
- 4 防災力強化マンション

今回は第2講座「安全管理と防犯管理」の最終回で、防犯管理の重要性を考えてみたいと思います。

治安のよい日本といえども、私たちの身近なところでさまざまな犯罪が起こっています。特に侵入犯罪(侵入強盗、侵入窃盗、住居犯罪)は非常に多く、マンションにとっても、住居等侵入犯罪の不安はとて大きいです。

住まいの安全・安心を守るために、防犯計画をしっかりと立てて、十分な対策を講じてください。

1 住居等侵入犯罪の手口

住居等侵入犯罪には3つの手口があります。「空き巣」、「忍び込み」、「居空き」の3つです。

「空き巣」とは、住民の留守をねらい屋内に侵入して、金品等を盗む手口です。

「忍び込み」とは、夜間住民が寝ている間にこっそりと屋内に侵入して、金品等を盗む手口です。

「居空き」とは、住民が昼寝や食事をしている間に、気づかれぬようにして屋内に侵入して、金品等を盗む手口です。大胆不敵な手口です。



2 泥棒を侵入させない方策

泥棒を屋内に侵入させないためにはどうすればよいか。まずは入りやすくすることです。

警察庁の調査によれば、泥棒が侵入をあきらめる所要時間は5分程度で、犯行にかかる時間は10分程度だそうです。つまり泥棒に時間をかけさせる対策を講じればよいという事です。それにはどんな方法があるのか。

① 窓に補助錠などを付ける。

窓に補助錠が付いていたり、ロック付きクレセントが付いていると、ガラスを割られても窓を開けられることはありません。また防犯フィルムをガラスに貼っておくと、ガラスを割れにくくします。また、ガラスの破壊を感知して大音響を発するガラスセンサーを設置する方法もあります。

泥棒に時間をかけさせる
工夫が最も効果的！

② 玄関に鍵を2つ以上付ける(ツーロック)

一般に「ワンドアツーロック」とは、1つの扉に2つの錠前を取り付けることです。扉に複数の錠前が付いていれば、ピッキングやサムターン回しにかかる時間が2倍、3倍になり、泥棒があきらめる確率が高くなります。また防犯金具としてガードプレートがあり、これも非常に有効です。最近では扉センサーのアラーム機能がありますが、これは警報装置ですので、前もって近隣の理解を得ておく必要があります。

③ 不在と思わせない。

泥棒に不在だと思わせないことも有効な対策です。外出するときはカーテンを閉めて、屋内が見えないようにしておきましょう。また旅行などで長期不在する時は、お隣に声をかけておくことを心がけてください。それと同時に新聞の配達を止めておくことも、不在を教えない方法です。



3 代表的な防犯システム

- ・警備保障サービス（訓練された警備員が自宅まで駆けつけます）
- ・ホームセキュリティー（空き巣だけでなく、火災やガス漏れまで警備会社が監視します）
- ・赤外線警報器（見えない赤外線が防壁を作り敷地内を守ります）
- ・防犯カメラ（監視を住居者が行ないます）
- ・防犯センサー、防犯ベル（衝撃を受けたり、破壊されると大音響で警笛が鳴ります）

4 防災力強化マンション

大阪市には防災力強化マンション認定制度というものがあります。耐震性や耐火性など建物の安全性に関する基準に適合しており、被災時の生活維持に求められる設備・施設等の整備、住民による日常的な防災活動等の実施など、ハード面・ソフト面で防災力が強化されたマンションが認定されます。

現在12のマンションが認定されています。

【大阪市防災力強化マンション認定制度】

<http://www.city.osaka.lg.jp/toshiseibi/page/0000048313.html>

マンション管理士事務所 JU

〒582-0026

大阪府柏原市旭ヶ丘 1-6-39

電話番号:072-915-3765

FAX 番号:072-915-3765

電子メール:dpkgq804@kawachi.zaq.ne.jp

ホームページ:<http://www.mankan-ju.com/>